

力強い農林水産業の確立に向けた基盤整備について

九州・山口地域では、米・麦・大豆といった土地利用型農業や果樹・施設園芸、畜産、さらには恵まれた海域を活用した漁業や養殖業など、多種多様な農林水産業の振興が図られているところであるが、農業者戸別所得補償制度をはじめとする国の予算の見直しを機に、農林水産関係の基盤整備や生産・流通施設等に関する予算は大幅に削減されたままである。

今後、生産・流通体制の構造改革等を通じて、九州・山口地域における農林水産業の生産力を強化しながら、国際競争力を高めていく必要があるが、一方で、今回の東日本大震災により、東日本地域の農林水産業には甚大な被害が発生しており、その復旧・復興の長期化が想定される中、我が国の食料供給基地としての九州・山口地域の役割は、これまで以上にその重要性が増している。

農林水産関係の基盤整備等が依然として遅れている九州・山口地域の現状や食料供給基地としての九州・山口地域の役割を十分認識の上、今後の計画的な基盤整備等に支障をきたすことのないよう、必要な予算総額を確保することを求める。

平成23年6月

九州地方知事会長

大分県知事 広瀬 勝貞